



特集

公園ライフ

寒さが和らぎ、日差しが暖かい季節になりました。
4月4日、お花見日和の今日は、大勢の人が公園を訪れていました。
わたしたちにとって、日常生活の一部となっている公園は、
訪れる人たちには魅力的な憩いの場だと言います。
全国にたくさんの市町村があり、公園がある中で、
松前町の公園がそんなふうに愛されるのはなぜでしょう。
それぞれの公園ライフをレポートしながら、
わたしたちの公園の魅力を探ります。

たくさんの人が憩い、いつも笑顔があふれる公園。しかし一方で、人の気配がなく、さみしい公園もあります。まずは公園の現状を見てみましょう。

公園の管理

公園は、足摺宇和海国立公園のように、今ある自然をそのまま残すために法律の規制がある「地域制公園」と、住民に利用してもらうために市町村がつくる「営造物公園」に分けることができます。松前町の公園はすべて「営造物公園」で、松前公園、親水公園や街区公園など合計9つの公園があります。

このような市町村がつくる公園は、公園管理者が常駐していないうえに、法律などによる規制もありません。そのため、管理が行き届きにくいという問題があります。

しかし、松前町は、公園管理のほとんどを地元へ委託しており、皆さんの協力で安全で美しい公園が維持されています。

公園の安心度

今は安全できれいに管理されている松前町の公園でも、管理

が行き届かなくなれば、いつかは「犯罪が起こりやすい公園」になるかもしれません。

公園はいつでも誰でも使える開放された場所です。でも、裏を返せば、不特定多数が「入りやすい」、また、人が来なければ「見つかりにくい」場所とも言えます。

10年ほど前、全国各地で公園での少年犯罪が多く報告されました。このとき問題視されたのが「公園の中は見えにくい」でした。植栽の高さやトイレの位置によっては、公道や周辺の住宅から死角ができることが懸念されました。

「トイレが汚い」「ごみが散乱している」「公園は、人が来ないという印象を与え、「人がいなくて怖い」「汚いから利用したくない」という悪循環を招きます。これが、犯罪が起こりやすい環境につながっているのです。

公園をきれいに保つことは、利用しやすさや見た目の美しさだけでなく、安心して過ごした

めに欠かせない大切な条件です。

公園の安全性

公園にはたくさん遊具が置かれ、子どもたちが夢中で遊んでいる姿が見られます。しかし、平成9年の「箱プランコ」事故の発生などをきっかけに、遊具の安全が指摘されるようになり、平成14年、国土交通省は遊具の安全性に対するガイドラインを作成しました。以後、重量で可動性の遊具は大幅に減少するなど、安全対策が強化されました。

さらに最近では、遊具の経年劣化や点検不備に起因する事故も増えていきます。このため、平成20年にガイドラインを改定、同時に(社)日本公園施設業協会による「遊具の安全に関する基準」も改訂されました。

松前町は、これに基づき危険性が高いと判断した黒田公園の大きな石の滑り台「プレイマウ



理想の公園

たくさんの人が集まり、楽しく安全に安心して過ごせる公園とは

一般的に公園と言うと、子どもの遊び場をイメージする人が多いかもしれませんが。各地域で公園の整備が始まった昭和30年代以降は、「ブランコ、砂場、滑り台」が「公園の三種の神器」と言われていました。

しかし、昭和50年代になると、環境保全、都市緑化や都市防災機能の重要性の高まりを受けて、公園には、安心して子どもが遊べる場としての役割に加え、幅広い年齢層が自然を身近に感じる場、健康づくりの場、住民相互のコミュニケーションの場としての役割が重視されるようになりました。

これらを担う理想の公園とは一体どのようなものなのでしょうか。利用者に聞きました。



生き物が見える公園

世岡千恵さん 杏樹ちゃん

安全な公園が理想です。あと、子どもは生き物に興味津々。生き物が見える公園があれば嬉しいです。

近所にある公園

佐藤隆史さん 優衣ちゃん

高柳公園が近いのですが遊具がなくなってしまって。ちょっとスリリングな遊具のある公園が近所にほしいです。



走りまわれる公園

長見咲紀ちゃん 坂上和日菜ちゃん

滑り台があったとき咲紀ちゃんが頭をぶつけて危なかったの。なくなって、走りまわれる今が好きです。



キャッチボールできる公園

伊藤裕貴くん 美玖ちゃん

キャッチボールできる公園がいいです。それから、鉄棒やブランコがある普通の公園がたくさんほしいです。

マナーを守る公園

森下絵美子さん 友翔くん

犬の散歩をする人がいますが、犬のふんがあると困ります。みんながマナーを守る公園がいいですね。



防犯上安全な公園

伊藤和男さん

きれいなトイレがあって、不審者がいない、防犯上安全な公園が理想です。



安心して遊べる公園

山本隆徳さん 亜弥さん 宗汰くん 凧紗ちゃん

子どもが心配なので、大人も一緒に利用できるように遊具を大きくするとか、安心して遊ばせられる公園がいいです。

雨の日でも遊べる公園

坂本子竜くん

おもちゃの貸し出しや、雨の日でも遊べる室内公園がほしいです。駄菓子屋さんがあるといいな。



地蔵町公園が理想

富田優翔くん 向井ひとみさん

近所だし、砂場も広くて、いつも誰かいるので遊び相手になってくれます。なくてはならない公園です。

わたしの公園ライフ

松前町の公園は、どのくらい理想に近いのでしょうか。お気に入りの公園を日常生活の中で利用している人や、公園づくりや管理に情熱を注いでいる人など、4人の皆さんに「わたしの公園ライフ」を聞きました。気付いていない魅力のヒントが見つかりそうです。

01 ひよこたん池公園 山本剛さん(67)・恵子さん(66)《神崎》



1 「いつも二人で歩きます」と本当に仲の良い山本さんご夫婦
2 公園で出会ったかわいらしい子どもに思わず声をかける恵子さん

健康のため、家から公園まで毎日ご夫婦でウォーキングをしている山本剛さん、恵子さん夫婦。剛さんの退職をきっかけに始めたそうです。
「2、3年前から2人で歩くようになった。夕食前に1時間10分、景色を楽しみながら歩いています。ひよこたん池公園は、すごく景色がきれいで、歩いていて気持ちいいです」と剛さん。時には、有明公園に向かうなど、日によってコースを変えながら、その時その時の風景を楽しんでいます。
「道端に咲ききれいな花を見つけたら、しっかり実をつけたキンカンを見つけたら。ときど

●ひよこたん池公園【中川原】 Map10-2・3H

水生植物公園。カモが見られることも。コンビネーション遊具やスプリング遊具などがある。(0.52ha)

き『どうぞ』といただくこともあったりして」と夫婦そろって大笑いしていました。
歩きながら、色々な発見や出会いがあることが楽しいというお二人。ひよこたん池公園でも、かわいらしい子どもを連れられたお母さんに「何か月？ かわいいねー」と声をかける恵子さん。すぐに打ち解け、子どもを抱っこしながら会話する姿に心穏やかなものがありました。
毎日二人の公園ライフを満喫している山本さん夫妻。これからも、たくさんの人や物との出会いを楽しみに、歩き続けるそうです。

心花ちゃんと詩埜ちゃんを連れて、週2、3回は松前公園に来るといふ山辺美香さん。妊婦さんの時からずっとここを利用しています。
「妊娠中は、運動しなきゃとひたすらこの外周を歩いていました。夜も街灯があるので安心。歩いていて近所のおじさんと仲良しになりましたよ」
詩埜ちゃんが生まれてからは、詩埜ちゃんを抱っこして心花ちゃんと遊んでいました。最近、心花ちゃんが一人でも遊具で遊べるようになったので、詩埜ちゃんの子守りをしながら少し遠くで心花ちゃんを見守ることもあるそうです。滑り台が大好きだといふ心花ちゃん。
「この遊具は危なくないの

●松前公園【筒井】 Map10-4D

大型コンビネーション遊具や身障者対応の遊具がある。親水池も整備。体育館や庭球場あり。(4.40ha)

で、安心して見ていられます。滑り台も一人で滑れるようになって。利用する人も多いから、少し上のお姉ちゃんやお兄ちゃんが遊んでいる姿を見て、同じようにチャレンジしてみたり。子どもなりに遊びながら学んでいるようです」

1 今日3人だけ、週末にはお父さんも一緒に公園に来るといふ山辺さん親子
2 心花ちゃんのお気に入りの砂場で遊ぶこと


遊具以外のお気に入りポイントは「これだけ広くて利用者の多い公園なのにトイレがきれいなどところ。やっぱりトイレが汚れている公園っていいイメージがなくて、利用したくないですね。それから、水や木など、自然がいっぱいなのが好きです。夏場の公園は日影がないとつらいので、木が多いと木陰ができてうれしいですね」と話してくれました。
この夏、松前公園にはきっと元気の3人の笑顔があふれているはず。

02 松前公園 山辺美香さん(30)・心花ちゃん(2)・詩埜ちゃん(0)《筒井》





1 「今年は桜が全部きれいに咲いてよかった」と池内さん。その桜の木をバックに
2 広い公園内を隅々までチェックして周ります



町が管理する公園の維持管理は、それぞれ業者や地域に委託されています。池内昭雄さんは福徳泉公園を管理する神崎クリーン管理組合の会長。組合は、当番を決めて毎日公園清掃をしているほか、月数回の遊具の点検や、老人クラブや神崎のメンバーによる一斉清掃を行っています。

「水が豊富で、とつても自然がきれいな公園。見れば誰だつて心が和むはず。ここは、地域の人にとって憩いの場です。町外からもたくさんの方が遊びに来ます。水や木や花がある。遊具もある。休憩所もある。広くて管理は大変だけど、松前町を代表する憩いの場として大事にせんといかん、そういう思いで公園を見ています。自然が多く

てきれいだから、点検しながら公園を歩くのも楽しいですよ」と話す池内さんは、当番でない日にも公園に来て見周りをするほど。

見周りには、いくつかの点検項目をまとめたチェック表を使っています。

「もし何か危ないところを見つけたら、すぐにまちづくり課に連絡します。でも利用者のほうがよく知っていて、電話したから『もう聞きました』ということも少なくありません。よくあります。ありがたいこと。せっかく来てくれる子どもたちが遊ぶのに、遊具が壊れていたり、何かが落ちていたりして、けがをさせたくはないですから」とにかく大勢の人に利用してほしいと話す池内さん。今日も「公園を見る」という立場で公園ライフを満喫していました。



04

福徳泉公園

あきお 池内昭雄さん (70) 《神崎》



03

有明公園

三好忠明さん (76) ・ 徹さん (41)、
はるひ 春陽ちゃん (小4) ・ そう 颯君 (小2) 《大間》



有明公園のほとりで憩う家族に出会いました。三好忠明さん家族です。

お父さんの徹さん、お姉ちゃんの春陽ちゃん、颯くんはボール遊びをしていました。楽しくみんなで遊んでいると、ボールが川に落ちてしまいました。「僕がとるー」大きな棒を持った颯くんは、慣れた手つきでボールを取ります。「いつものことだから」と徹さんはにっこり。

「お父さんとここでボール遊びをするのが好きです。ボールが川に落ちちゃうけどね」と春陽ちゃんと颯くんは笑い合います。

かつて、大間地区には、集落を貫流する国近川岸の二帯に、家ごとの洗い場「くみじ」がつくられていました。祖父忠明さんは「昔はこの川が生活に欠かせませんでした。くみじで米をといだり、野菜を洗ったり。お

しめは下流で洗う、下水は南つて決まっています。水道ができてから生活が変わったけど、今でも、手を洗ったり、川の水をくんで花に水をやりたりします。川のあるところで生活してきた人にとって、この川はなくてはならないものです。コイは元気に泳いでいて、やっぱりそうゆうのを見るのはいいですね」と川岸を見つめます。春陽ちゃんと、颯くんも「コイが好き」とうれしそう。

「夕方コイに餌をあげるよ。いっぱい寄ってきてくれてうれしいの」と春陽ちゃんは、川のことを色々教えてくれました。

「夏にはここで『火流し』や『灯ろう流し』があるんだよ。近所の人みんな集まるし、すごくきれいなんだよ」

今でも人々のくらしに密着した有明公園。明るくて温かい、住民の憩いの場です。



ベットタウンから ライフタウンへ

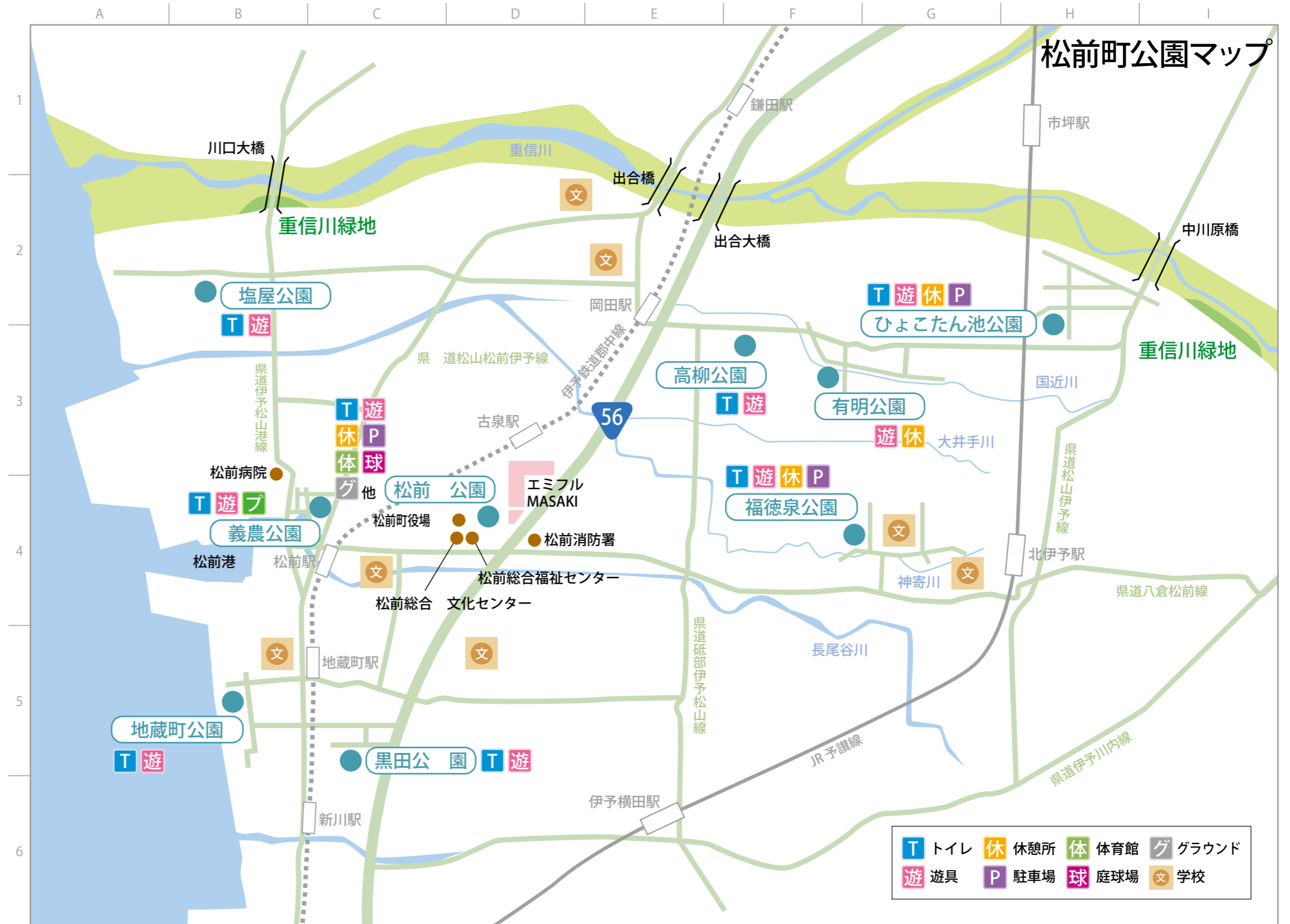
公園の取材で声をかけると、意外にも町外から訪れる人が多いことに気付きます。皆さんは「こんなに自然がいっぱいで癒やされる公園ってないです」「松前町ってすてきなところですね」と異口同音に話します。わたしたち松前町民には当たり前前の空間が、町外から訪れる人にとっては「特別な場所や安らぎの空間」になっていたのです。

100人いれば100通りの「理想の公園」があります。環境の時代、土や芝といった自然と触れ合える公園を求める声もあれば、車いすでも散歩できる遊歩道の設置を求める声もあるでしょう。

そんな、100人100通りの理想を、公園造りに取り入れていくことは大切なことです。でも限られた予算と空間の中で、それらを満たしていくには限界があります。でも、一人に一つ、100人に100通りの「公園ライフ」ならかなうかもしれません。

皆さんがもっと身近なものとして公園を利用したり、大切にしたりすることで、きっと新しい魅力を発見したり、新しい楽しみに出合ったりするでしょう。それぞれの生活の中に潤いや輝きが生まれるでしょう。一方、そんな公園を見守る地域の目があります。きれいで快適な公園を維持する地域の手があります。そんな人たちが増えれば、公園や地域ににぎわいが生まれ、たくさんの連鎖が松前町をより魅力的な町にしていきます。それは、「訪れて癒やされる町」から「住んでみたい町」へ、「住んで癒やされる町」から「ずっと住みたい町」へとなるくらいに。

愛すべき松前町の公園。公園は松前町に住む理由を、便利だから住む(松前町でなくてもいい)「ベットタウン」から、ここが良くて暮らす「ライフタウン」へと変える、松前町の大きな魅力の1つです。



●重信川緑地[徳丸、中川原、北川原] Map10-2・3I



松前町と松山市を流れる重信川の高水敷を、多目的広場として整備した緑地。(3.90ha)

●高柳公園[上高柳] Map10-3F



公民館に隣接し、コミュニティー活動の場として利用される公園。(0.11ha)

●塩屋公園[北川原] Map11-2B



町の北西部に位置する公園。児童の遊び場であり、地域住民の憩いの場。(0.27ha)

●義農公園[筒井] Map11-4C



義農神社に隣接する公園。プールもあり7～8月にかけて無料で利用可。(0.51ha)

●地蔵町公園[北黒田] Map11-5B



コンビネーション遊具のほか、ゆったりとした広場がある公園。(0.25ha)

●黒田公園[南黒田] Map11-5C



砂場やコンビネーション遊具がある。児童の遊び場であり住民の憩いの場。(0.15ha)